

第8期 事業報告書

法人の名称 特定非営利活動法人 川崎寺子屋食堂

1 事業の成果

2023年4月以降1会場を全面的に対面授業とし、もう1会場をon line 授業とし、教務力の向上と運営の効率化を図っています。現在はon line 生と通学生が半々となっています。On line 生には前期に引き続き月2回の食材配布会で、通学生には夕食会（または弁当持ち帰り）で食事確保を図りました。また、野外イベントを継続して実施し、親子の会話を促進してもらいました（リアル脱出ゲーム、芋掘り大会、いちご摘み大会など）。

また、ボランティアは前期から国際化が進み、アメリカのペンシルベニアからオンラインで英会話を実施しています。生徒に良い刺激となっています。

2024年8月末 生徒数28名、ボランティア47名です。

合格祝い（2024年3月中華料理店にて） 短大・専門学校・高校合格者 5名



2 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

通学生（いこいの家）	84回	延べ人数	676名
On line 生	236回	延べ人数	1164名

① 継続的に無償で食事を提供する事業

いこいの家への通学生は、すかいらくレストランズと引き続き提携を行い、栄養価の高い食事を毎回提供しました。一方、on line 生は月2回の食材配布会でお米や肉野菜セ

ットを提供しています。

・費用額 1,906,064 円（主にケータリング費・食材配布会費・ボランティア交通費等）

② 学習する場を提供する事業

通学生はいこいの家で個別指導の学習を行なっています。On line 生は1クラス平均1.3名のきめ細かい授業を行なっています。この on line 授業にはアメリカ在住の日本人研究者による英会話レッスンもあり、国際感覚の溢れる学習環境となっています。

・費用額 727,407 円（主に書籍代・広告費・ボランティア交通費等）

③ 学習指導及び学習サポート事業

社会人や定年退職者のボランティア以外に、新型コロナウイルス以降は現職のボランティアが増えています。36名の学習ボランティアの内、約4割の14名がIT関連企業などに勤める現役ボランティアとなっています。また、運営ボランティアとイベントボランティアが11名となっていて、合計47名の体勢で学習指導やサポートなどを行なっています。尚、自宅にWiFi環境のない生徒にはPCやルーターを無償で貸し出しています。今後その需要が増えるものと見ています。

・費用額 1,441,037 円（主にイベント費・書籍代・広告費・ボランティア交通費等）

④ 全国に寺子屋食堂を普及させるための支援事業

内部体制が整わないため、第8期の活動も前期同様中止しております。

・費用額 0 円

野外活動の様子 (2023 年 10 月)



(2024 年 6 月)



以上